

第1表 学校給食実施状況

(1) 総括表

平成26年5月1日現在

区分		小学校	中学校	小中合計	夜間定時制 高等学校	公立特別 支援学校	合計
学校給食実施学校数(校)		819	382	1,201	17	34	1,252
在籍児童生徒数(人)		319,190	154,662	473,852	2,282	5,194	481,328
完全給食	学校数(校)	819	382	1,201	17	34	1,252
	実施児童生徒数(人)	318,553	153,804	472,357	1,468	4,853	478,678
	実施率(%)	99.8	99.4	99.7	64.3	93.4	99.4
調理方式別内訳	単独調理場(校)	407	133	540	1	34	575
	共同調理場(校)	412	248	660	0	0	660
	デリバリー方式(校)	0	1	1	16	0	17
	親子方式(校)	5	17	22	0	1	23

(注)

- 1 実施児童生徒数は、5月1日現在、実際に給食を受けている人数である。
(食物アレルギー等で受けていない人数は含まない。)
- 2 四街道・仁戸名特別支援学校は、病院給食のため対象から除く。
- 3 流山高等学園・市川大野高等学園は、給食未実施校のため対象から除く。
- 4 夜間定時制高等学校の実施数は、生徒の申し出等による人数である。
- 5 親子方式校は、親校から給食を受けている子の学校数である。単独調理場の小・中学校数にも含まれている。
- 6 学校給食実施率は、実施児童生徒数を在籍児童生徒数で除したものである。
- 7 本県では、補食給食及びミルク給食実施校はない。

第2表 米飯給食実施状況

(1) 学校数ベース総括表

平成26年5月1日現在

学校数		米飯給食実施状況							
		1回	2回	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回
小学校	819	0	1	8	270	277	246	3	14
中学校	382	0	0	3	111	104	106	3	55
夜間定時制 高等学校	17	0	0	0	0	0	1	9	7
公立特別 支援学校	34	0	0	0	8	9	15	2	0
合計	1,252	0	1	11	389	390	368	17	76
実施率		0%	0.1%	0.9%	31.1%	31.2%	29.4%	1.4%	6.1%

(2) 児童生徒数ベース総括表

平成26年5月1日現在

児童生徒数		米飯給食実施状況							
		1回	2回	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回
小学校	318,553	0	251	2,398	115,576	117,126	78,815	2,069	2,318
中学校	153,804	0	0	1,229	47,026	40,552	36,467	695	27,835
夜間定時制 高等学校	1,468	0	0	0	0	0	44	846	578
公立特別 支援学校	4,853	0	0	0	748	1,493	2,205	407	0
合計	478,678	0	251	3,627	163,350	159,171	117,531	4,017	30,731
実施率		0%	0.1%	0.8%	34.1%	33.3%	24.6%	0.8%	6.4%

(注)

1 週当たり平均実施回数 **3.5回** (児童生徒数ベース)

(2) 調理方式別完全給食実施状況

平成26年5月1日現在

	調理施設数	学校種	学校数 (含 子校)	子校数
単独調理場	575 施設	小学校	407 校	5 校
		中学校	133 校	17 校
		公立特別支援学校	34 校	1 校
		夜間定時制高等学校	1 校	
共同調理場	84 施設	小学校	412 校	
		中学校	248 校	
調理場数 計	659 施設	学校数 計	1,235 校	23 校

その他の調理場方式 (デリバリー方式)	県立中学校	1 校
	夜間定時制高等学校	16 校
	学校数 計	17 校

(注)

- 1 対象は、完全給食を実施している公立小学校・中学校・特別支援学校・夜間定時制高等学校である。
- 2 子校数とは、単独調理場の学校のうち、親子方式で親校から給食を受けている子校の学校数である。

(3) 調理方式別完全給食実施状況年次推移

平成26年5月1日現在

調理方式 学校種	単独調理場				共同調理場				合計			
	平成26年		平成25年		平成26年		平成25年		平成26年		平成25年	
	学校数	%	学校数	%	学校数	%	学校数	%	学校数	%	学校数	%
小学校	407	49.7	408	49.3	412	50.3	419	50.7	819	100	827	100
中学校	133	34.9	133	34.9	248	65.1	248	65.1	381	100	381	100
合計	540	45.0	541	44.8	660	55.0	667	55.2	1,200	100	1,208	100

(注)

- 1 対象は、公立小中学校完全給食実施校である。
- 2 県立千葉中学校は、デリバリー方式のため除く。

第3表 学校給食費状況

(1) 総括表

平成26年5月1日現在

		平均月額 (円)			平均単価 (円)		
		24年度	25年度	26年度	24年度	25年度	26年度
公立小・中学校	小学校 (低)	4,217	4,342	4,442	248	250	251
	前年度比 (%)	99.2	103.0	102.3	99.8	100.8	100.2
	小学校 (中)	4,295	4,373	4,467	251	252	251
	前年度比 (%)	99.4	101.8	102.1	99.4	100.3	99.5
	小学校 (高)	4,336	4,384	4,479	255	252	257
	前年度比 (%)	99.3	101.1	102.2	99.3	99.0	101.6
	中学校	5,001	5,053	5,156	301	293	292
前年度比 (%)	99.8	101.0	102.0	100.3	97.2	99.9	
公立特別支援学校	幼稚部	4,643	4,626	4,729	282	283	287
	前年度比 (%)	102.0	99.6	102.2	100.4	100.2	101.7
	小学部	4,987	5,146	5,322	290	300	308
	前年度比 (%)	96.7	103.2	103.4	97.2	103.2	102.9
	中学部	5,866	6,016	6,154	340	350	356
	前年度比 (%)	97.6	102.6	102.3	97.1	103.1	101.8
	高等部	5,859	6,014	6,185	339	352	358
前年度比 (%)	97.6	102.6	102.8	97.1	103.7	101.8	
夜間定時制高等学校		5,048	4,990	5,176	303	303	318
前年度比 (%)		100.0	98.9	103.7	99.5	99.9	104.9

(注)

1 一食あたりの平均単価は、平均月額×11(ヶ月)÷年間予定回数により算出している。

(2) 学校給食費 最低・最高月額

平成26年5月1日現在

区分	最低月額 (円)	最高月額 (円)
小学校 (低)	3,300	5,141
小学校 (中)	3,300	5,141
小学校 (高)	3,300	5,141
中学校	3,800	5,940
特別支援学校 (幼)	4,000	5,167
特別支援学校 (小)	4,255	6,000
特別支援学校 (中)	5,056	6,900
特別支援学校 (高)	4,523	6,900
夜間定時制高等学校	3,900	6,000

第4表 栄養教諭・学校栄養職員配置状況

(1) 総括表

平成26年5月1日現在

	年度	小学校	中学校	共同調理場	教育委員会	公立特別支援学校	夜間定時制高等学校	合計
県費	25	218	63	142	3	30	11	467
負担職員	26	211	66	140	6	30	10	463
市町村費	25	187	54	13	17	0	0	271
負担職員	26	189	51	13	18	0	0	271
計	25	405	117	155	20	30	11	738
	26	400	117	153	24	30	10	734

(注)

- 1 調査対象は、常勤の栄養教諭・学校栄養職員である。
- 2 栄養教諭164名を含む。

(2) 栄養教諭・学校栄養職員学校規模別配置状況(単独調理場) 平成26年5月1日現在

区分	児童生徒数	199人以下	200人～399人	400人～599人	600人～799人	800人～999人	1,000人～1,199人	1,200人～1,399人	1,400人～1,599人	合計
		小学校	配置人員	50	108	107	89	34	9	
	(うち栄養教諭)	6	15	25	15	11	3	1	0	76
	学校数	51	110	109	90	35	9	2	1	407
中学校	配置人員	8	32	31	32	10	3	0	0	116
	(うち栄養教諭)	1	7	7	9	0	0	0	0	24
	学校数	13	37	34	36	10	3	0	0	133

(注)

- 1 親子給食の場合は、「学校数」欄においては、それぞれを1校として記入している。
- 2 小学校の学校栄養職員数と学校数が一致しないのは、親子給食の実施により2校で1人の栄養教諭・学校栄養職員を配置している場合等があるためである。

(3) 栄養教諭・学校栄養職員学校規模別配置状況(共同調理場)

平成26年5月1日現在

区分	児童・生徒数	501人	1,001人	1,501人	2,001人	2,501人	3,001人	4,001人	5,001人	7,001人	10,001人以上	合計
		500人以下	1,000人	1,500人	2,000人	2,500人	3,000人	4,000人	5,000人	7,000人	10,000人	
配置人員	11	15	16	17	13	9	22	18	16	16	0	153
(うち栄養教諭)	4	7	5	6	4	3	9	3	5	5	0	51
共同調理場数	11	14	12	8	7	5	9	7	7	4	0	84

第5表 学校給食調理員配置状況

(1) 総括表

平成26年5月1日現在

区 分		常 勤	非 常 勤	計
小 学 校	配置人員	497	404	901
	うち調理師免許取得者	339	111	450
中 学 校	配置人員	27	37	64
	うち調理師免許取得者	22	4	26
特別支援校	配置人員	95	76	171
	うち調理師免許取得者	62	34	96
夜間定時制高等学校	配置人員	0	3	3
	うち調理師免許取得者	0	0	0
共同調理場	配置人員	414	232	646
	うち調理師免許取得者	207	69	276
計	配置人員	1,033	752	1,785
	うち調理師免許取得者	630	218	848

(2) 学校給食調理員規模別配置状況 (単独調理場)

平成26年5月1日現在

区分		児童・生徒数 100人 以下	101人 ～ 300人	301人 ～ 500人	501人 ～ 700人	701人 ～ 900人	901人 ～ 1,100人	1,101人 ～ 1,300人	1,301人 ～ 1,500人	1,501人 以 上	合 計
小学校	配置人員	20	221	224	233	163	27	0	13	0	901
	学校数	17	98	100	111	58	19	2	2	0	407
中学校	配置人員	5	7	21	25	6	0	0	0	0	64
	学校数	5	22	47	34	18	5	2	0	0	133
特別支援校	配置人員	20	122	29	0	0	0	0	0	0	171
	学校数	7	23	4	0	0	0	0	0	0	34
夜間定時制高等学校	配置人員	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	学校数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(3) 学校給食調理員規模別配置状況 (共同調理場)

平成26年5月1日現在

区 分	児童・生徒数 500人 以下	501人 ～ 1,000人	1,001人 ～ 1,500人	1,501人 ～ 2,000人	2,001人 ～ 2,500人	2,501人 ～ 3,000人	3,001人 ～ 4,000人	4,001人 ～ 5,000人	5,001人 ～ 7,000人	7,001人 ～ 10,000人	10,001人 以 上	合 計
配 置 人 員	39	71	83	63	62	96	62	86	84	0	0	646
共 同 調 理 場 数	11	14	12	8	7	5	9	7	7	4	0	84

(注)

- 1 委託調理員は含まない。
- 2 親子給食の場合は、「学校数」欄においては、それぞれを1校として記入し、「配置人員」欄においては、親校の欄に記入している。
- 3 デリバリー方式実施校は含まない。

第6表 調理場業務状況

(1) 学校給食外部委託状況 平成26年5月1日現在

区分	単独調理場		共同調理場	
	小学校数	中学校数	調理場数	小中学校数
調理	256	122	58	463
運搬	54	35	78	609
物資購入管理	0	0	1	14
食器洗浄	189	79	54	455
ボイラー管理	2	1	43	374
その他の業務	1	0	18	120

(注)

- 1 調査対象は、完全給食を実施している公立小学校・中学校である。
- 2 炊飯の委託は除く。
- 3 デリバリー方式実施校は含まない。
- 4 「その他の業務」には、配膳業務、施設の清掃・点検等が挙げられている。

(2) 残渣処理の対応

平成26年5月1日現在

		生ゴミ処理機	ゴミ回収業者	養豚業者	その他	
公立小中学校	単独調理場 (541校)	学校数	40	499	13	2
		割合(%)	7.4	92.2	2.4	0.4
	共同調理場 (84施設)	調理場数	8	59	4	16
		割合(%)	9.5	70.2	4.8	19.0
公立特別支援学校数 (34校)		学校数	0	34	0	0
		割合(%)	0	100	0	0
夜間定時制高校数 (17校)		学校数	0	4	0	13
		割合(%)	0	23.5	0	76.5

(注)

- 1 調査対象は、完全給食を実施する公立小・中・特別支援学校・夜間定時制高校である。
- 2 重複回答のため、合計が必ずしも100%にはなっていない。
- 3 親子給食の場合は、それぞれ1校として記入している。
- 4 デリバリー方式実施校を含む。(本票は千葉中学校は単独調理場に含める)

(3) 食物アレルギーへの対応

平成26年5月1日現在

			①詳細な献立表 対応	②弁当対応	③除去食対応	④代替食対応
公立 小 中 学 校	単独調理場□	学校数	471	335	430	86
		割合(%)	87.1	61.9	79.5	15.9
	共同調理場□	調理場数	71	54	15	4
		割合(%)	85.5	65.1	18.1	4.8
公立特別支援学校数		学校数	26	15	29	11
		割合(%)	76.5	44.1	85.3	32.4
夜間定時制高校数		学校数	11	2	1	0
		割合(%)	64.7	11.8	5.9	0

(注) 1 調査対象は、(1)で対象者がいると答えた学校・施設。

2 重複回答のため、必ずしも100%にはなっていない。

3 「詳細な献立表」とは、判断できるような原材料を示し保護者・担任の指示、本人の判断で除外している場合。

4 「弁当対応」とは、対応が困難な場合に一部もしくは全部、弁当持参で対応している場合。

5 「除去食対応」とは、申請のあった原因物質を除いた給食を提供している場合。

6 「代替食対応」とは、除去食で失われた栄養価を別の食品で補う給食を提供している場合。

7 親子給食の場合は、それぞれ1校として記入している。

8 デリバリー方式実施校を含む。(本票は千葉中学校は単独調理場に含める)

第7表 食器の使用状況

食器の材質別使用割合

平成26年5月1日現在

区 分	小学校数	割合 (%)	中学校数	割合 (%)	特別支援 学校数	割合 (%)	夜間定時 制高校数	割合 (%)
ポリプロピレン	392	47.9	186	48.7	3	8.8	8	47.1
強化磁器	243	29.7	123	32.2	7	20.6	0	0
PEN樹脂	191	23.3	89	23.3	4	11.8	1	5.9
アルマイト	36	4.4	0	0	0	0	0	0
ステンレス	22	2.7	16	4.2	1	2.9	1	5.9
ポリカーボネート	1	0.1	1	0.3	2	5.9	1	5.9
メラミン	22	2.7	1	0.3	25	73.5	13	76.5
COP	0	0	0	0	1	2.9	0	0
強化耐熱ガラス	1	0.1	0	0	0	0	1	5.9
陶磁器	5	0.6	2	0.5	1	2.9	0	0
ポリエチレン	0	0	0	0	1	2.9	1	5.9
木	0	0	0	0	0	0	1	5.9
複合	0	0	0	0	1	2.9	0	0
ダフレン	0	0	0	0	1	5.9	1	5.9
その他	29	3.5	18	4.7	6	17.6	8	47.1

(注)

- 1 重複回答可である。
- 2 盆は含まず、パレット皿を含めて調査をしている。
- 3 強化耐熱ガラスには、コレールを含む。
- 4 その他は、ABS樹脂等である。

第8表 朝食欠食状況

(1) 公立小中学校の割合

	学年	必ず毎日食べる	1週間に1～3日食べないことがある	1週間に4～5日食べないことがある	ほとんど食べない
小学校	小1年	92.5%	5.7%	1.0%	0.7%
	小2年	92.3%	5.8%	1.0%	0.8%
	小3年	92.7%	5.6%	0.9%	0.9%
	小4年	92.9%	5.3%	0.8%	0.9%
	小5年	92.1%	5.8%	1.1%	1.0%
	小6年	91.0%	6.7%	1.2%	1.1%
	小計	92.2%	5.8%	1.0%	0.9%
中学校	中1年	88.0%	8.4%	1.7%	1.9%
	中2年	86.6%	8.9%	2.1%	2.4%
	中3年	86.5%	8.9%	2.0%	2.6%
	小計	87.0%	8.7%	1.9%	2.3%
合計	90.6%	6.8%	1.3%	1.4%	

(2) 公立特別支援学校の割合

	学年	必ず毎日食べる	1週間に1～3日食べないことがある	1週間に4～5日食べないことがある	ほとんど食べない
小学部	小1年	90.1%	6.8%	1.0%	2.1%
	小2年	89.5%	10.0%	0%	0.5%
	小3年	93.1%	5.3%	0.5%	1.1%
	小4年	91.4%	6.6%	0.5%	1.5%
	小5年	90.1%	7.0%	1.7%	1.2%
	小6年	90.9%	6.3%	1.0%	1.9%
	小計	90.8%	7.0%	0.8%	1.4%
中学部	中1年	91.0%	8.3%	0%	0.7%
	中2年	91.5%	5.2%	1.1%	2.2%
	中3年	93.0%	5.0%	0.4%	1.6%
	小計	91.8%	6.2%	0.5%	1.5%
合計	91.2%	6.7%	0.7%	1.4%	

(注)

- 1 調査は、平成26年度4月～10月で各学校が調査した日現在である。
- 2 千葉県食育推進計画の目標値は、「1週間に4～5日食べないことがある」「ほとんど食べない」の割合を対象としている。

第9表 食に関する指導について

(1) 食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」の活用状況の割合

対象学校	授業で1度でも活用した学校	授業以外で1度でも活用した学校	課題や宿題として1度でも活用した学校
小学校	67.5%	34.2%	18.2%
公立特別支援学校 (小学部)	21.4%	17.9%	0%
合計	66.0%	33.6%	17.6%

(2) 食に関する授業の実施状況の割合

内容 校種	担任だけで授業を実施した学校	担任と栄養教諭又は学校栄養職員のTTで授業を実施した学校	学校栄養職員が特別非常勤講師として授業を実施した学校	地域の食の専門家の協力を得て授業を実施した学校	地場産物の食材を活用した授業を実施した学校	地域の伝統料理や行事料理を活用した授業を実施した学校	生活科・家庭科以外で体験活動を伴う授業を実施した学校	保護者が参加した食に関する指導の授業を実施した学校
小学校	63.2%	68.6%	18.8%	27.7%	54.6%	38.1%	63.6%	32.7%
中学校	44.2%	29.6%	11.5%	12.0%	41.6%	35.1%	27.7%	6.8%
公立特別支援学校	41.2%	55.9%	20.6%	2.9%	38.2%	23.5%	44.1%	8.8%
夜間定時制高等学校	5.9%	11.8%	23.5%	5.9%	5.9%	5.9%	5.9%	0%
合計	56.1%	55.6%	16.7%	22.0%	49.5%	36.3%	51.4%	23.7%

(3) 食に関する指導推進のための体制作り状況の割合

	食に関する指導全体計画を作成してある学校	食に関する指導年間計画を作成してある学校	近隣の学校や地域の保健センター、公民館等との食に関する連絡協議会等がある学校
小学校	92.4%	76.2%	23.0%
中学校	84.6%	65.4%	23.0%
公立特別支援学校	76.5%	64.7%	5.9%
夜間定時制高等学校	23.5%	23.5%	17.6%
合計	88.7%	71.9%	22.4%

(注)

- 1 平成25年度活用状況である。
- 2 重複回答可である。
- 3 授業以外とは「給食時の指導」「保護者会」等での活用のことである。
- 4 食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」は、県教育委員会HPに掲載している。
- 5 地域の食の専門家とは、生産者、調理師、栄養士等である。
- 6 体験活動とは、農作物の栽培、食品の加工・調理等をさしている。

第10表 学校農園等の設置状況

(1) 校内設置の割合

平成26年5月1日現在

	畑			水田		
	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上
小学校数	43.2%	14.8%	6.3%	12.1%	1.6%	0.2%
中学校数	26.4%	4.5%	2.6%	1.6%	0.3%	0%
公立特別 支援学校数	14.7%	361.8%	14.7%	0%	0%	0%
合計	37.2%	21.1%	5.4%	8.5%	1.1%	0.2%

(2) 校外設置の割合

平成26年5月1日現在

	畑			水田		
	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上
小学校数	6.3%	3.8%	5.0%	2.1%	3.2%	6.1%
中学校数	2.6%	0.5%	2.4%	0.8%	0%	0.3%
公立特別 支援学校数	0%	3%	38.2%	0%	0%	0%
合計	5.0%	2.8%	5.1%	1.6%	2.1%	4.1%

(注)

- 1 重複回答可である。
- 2 バケツ稲は除く。
- 3 借り上げている場合も含む。